

研究課題要旨

研究課題要旨

〔 400 字程度で「研究構想」(CREST - 様式 3) の要点をまとめてください。 〕

提案内容に関するキーワード

〔 研究課題を理解する上で有効なものについて、巻末 (別添 1) のキーワード表から最も近いと思われるものを 5 つまで選び、“番号”と“キーワード”をご記入下さい。キーワード表に該当するものがない場合は、頭に“*”をつけ、独自にキーワードを記入して下さい。 〕

(記入例) No.1 遺伝子、No.2 ゲノム、No.10 発生分化、*

分野

〔 研究課題の分類される分野に関し、巻末 (別添 2) の研究分野表から最も近いと思われるものについて、主分野は 1 個、副分野は 1 ~ 3 個以内を選び、“番号”と“研究区分”をご記入下さい。 〕

(記入例) 主分野 : No.101 ゲノム
副分野 : No.102 医学・医療、No.104 脳科学

照会先

〔 当該研究課題について良くご存じの方を 2 名挙げて下さい (外国人でも可) 。それぞれの方の氏名、所属、連絡先 (電話/FAX/電子メールアドレス) をご記入ください。選考 (事前評価) の過程で、評価者 (研究総括および領域アドバイザー) が、本研究提案に関して照会する場合があります。この照会先の記載は必須ではありません。 〕

〔 様式にはフッター P (ページ番号 / 総ページ数) が設定されています。 〕

研究構想

- ・ 評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図や表も用いてください。
- ・ A4 用紙 5 枚程度を目安としますが、必要十分な記述が重要ですので、分量は定めません。

1 . 研究の目標・ねらい

- ・ 研究目標 (研究期間終了時に達成しようとする、研究成果の目標)
 - ・ 研究のねらい (上記研究成果によって直接的に得られる、将来の技術革新へ向けた科学技術上の 手掛かり)
- を、具体的に記載してください。

2 . 研究の背景

本研究構想の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請 (言及の必要があれば、社会的要請や経済、産業上の要請を含む) および、必要に応じて当該分野や関連分野の動向等を適宜含めて記載してください。

3 . 研究計画とその進め方

具体的な研究内容・研究計画を記載してください。

- ・ 「 1 . 研究の目標・ねらい 」をどのように達成しようとするのか、構想・計画を具体的に示していただくために、「研究の目標・ねらい」へ向けた研究のマイルストーン (研究期間途上での研究の達成度の判断基準と時期) を示しつつ、タイムスケジュールの大枠を示して下さい。
- ・ 「研究の目標・ねらい」達成にあたって予想される問題点とその解決策を含みます。
- ・ 研究項目ごとに記載しても結構です。

(次ページへ続く)

(前ページより続く)

4 . 研究実施の基盤および準備状況

本研究構想を推進する基盤となる、

- ・ これまでの国内外の研究結果
- ・ 研究提案者自身(および必要に応じて研究参加者)のこれまでの研究の経緯と成果
- ・ その他の予備的な知見やデータ等(存在する場合)

について、具体的に記載してください。

5 . 研究の独創性・新規性および類似研究との比較

関連分野の国内外の研究の現状と動向を踏まえて、この研究構想の独創性、新規性や優位性を示して下さい。

6 . 研究の将来展望

この研究構想の「1. 研究の目標・ねらい」の達成を端緒として、将来実現することが期待される、科学技術の発展、新産業創出、社会貢献等を、研究提案者が想定し得る範囲で記述して下さい。

研究実施体制 1 (研究代表者グループの研究実施体制)

- ・ 研究代表者が所属する研究機関における研究参加者を記入してください。
- ・ 研究代表者と同じ所属機関の研究参加者が、研究代表者の研究実施項目および概要とは明確に異なる内容で参加する場合は、研究実施体制 2 (CREST-様式 5) に記入していただいても結構です。

研究代表者グループ

(記入例)

研究機関名	大学大学院 (研究実施場所	研究科 大学)	専攻
当該研究機関からの 研究参加者	氏名	役職	エフォート (研究代表者のみ)
(研究代表者)		教授	%
		助教授	-
		助手	-

- ・ エフォートには、研究者の年間の全仕事時間 (研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む) を 100% とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率 (%) を記入して下さい。【総合科学技術会議における定義による】
- ・ 研究チームの構成メンバーについては、その果たす役割等について十分ご検討下さい。
- ・ 研究参加者のうち、提案時に氏名が確定していない研究員等の場合は、「研究員 名」といった記述でも結構です。
- ・ 研究参加者の行は、必要に応じて追加してください。

特記事項

- ・ 特別の任務等 (学部長等の管理職、学会長など) に仕事時間 (エフォート) を要する場合には、その事情・理由を記入してください。

研究実施項目および概要

- ・ 研究実施項目
- ・ 概要

〔 当該研究機関が担当する研究の概要及び研究の必要性を簡潔に記載してください。 〕

研究実施体制 2

(共同研究グループの研究実施体制)

- ・ 研究代表者の所属機関以外の研究機関（共同研究機関）の研究者が加わる場合、その研究参加者を共同研究機関ごとに記入ください。
- ・ 共同研究機関の数の上限はありませんが、本研究構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。また、産官学から様々な研究機関を研究チームの共同研究グループとすることが可能です。
- ・ 研究チームに共同研究グループを加えることは、必須ではありません。

共同研究グループ（1）

（記入例）

共同研究機関名	研究所 研究室 （研究実施場所 研究所）		
当該研究機関からの研究参加者	氏名	役職	エフォート (主たる共同研究者のみ)
(主たる共同研究者)		主任研究官	%
		研究員	-

研究実施項目および概要

- ・ 研究実施項目
- ・ 概要

〔 当該研究機関が担当する研究概要及び研究の必要性を簡潔に記載してください。 〕

共同研究グループ（2）

（記入例）

共同研究機関名	株式会社 研究所 （研究実施場所 株式会社）		
当該研究機関からの研究参加者	氏名	役職	エフォート (主たる共同研究者のみ)
(主たる共同研究者)		主任研究員	%
		研究員	-

研究実施項目および概要

- ・ 研究実施項目
- ・ 概要

〔 当該研究機関が担当する研究概要及び研究の必要性を簡潔に記載してください。 〕

研究費計画

- ・費目別の研究費計画と研究グループ別の研究費計画を年度ごとに記入してください。
- ・面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究費計画を提出していただきます。
- ・採択された場合は、記載された研究費計画で研究を行うこととなるとは限りません。

(記入例)

費目別の研究費計画 (チーム全体)

	初年度 (H19.10～ H20.3)	2年度 (H20.4～ H21.3)	3年度 (H21.4～ H22.3)	4年度 (H22.4～ H23.3)	5年度 (H23.4～ H24.3)	最終年度 (H24.4～ H25.3)	合計 (百万円)
設備費	30	40	40	10	10	5	135
材料・消耗品費	5	10	10	10	8	8	51
旅費	3	5	5	5	5	5	28
人件費・諸謝金 (研究員等の数)	5 (3)	10 (3)	20 (5)	20 (5)	10 (3)	10 (3)	75
その他	2	10	10	10	7	7	46
合計 (百万円)	45	75	85	55	40	35	335

- ・研究費の費目と、その用途は以下の通りです。

設備費：設備を購入するための経費

材料・消耗品費：材料・消耗品を購入するための経費

旅費：研究代表者や研究参加者の旅費

人件費・諸謝金：研究員・技術員・研究補助員等の人件費、諸謝金

(研究員等の数)：新たに雇用する予定の研究員、技術員、研究補助員の人数

その他：上記以外の経費 (研究成果発表費用、機器リース費、書籍、運搬費等)

特記事項

- (1) 費目毎の予算額・比率は、最適なものをお考えください。ただし、人件費が研究費総額の50%を超える場合、材料・消耗品費、旅費それぞれが研究費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載して下さい。
- (2) 研究期間を通じた研究費総額が6億円を超える研究提案である場合、「多額の研究費を必要とする理由」を本項に記載して下さい。

(次ページへ続く)

(前ページより続く)

研究グループ別の研究費計画

	初年度 (H19.10～ H20.3)	2年度 (H20.4～ H21.3)	3年度 (H21.4～ H22.3)	4年度 (H22.4～ H23.3)	5年度 (H23.4～ H24.3)	最終年度 (H24.4～ H25.3)	合計 (百万円)
研究代表者 グループ	25	35	40	35	20	15	170
共同研究グル ープ(1)	10	20	25	10	10	10	85
共同研究グル ープ(2)	10	20	20	10	10	10	80
合計(百万円)	45	75	85	55	40	35	335

購入予定の主要設備(1件5,000千円以上、機器名、概算価格)

(記入例)

- 15,000 千円
- 5,000 千円
- 10,000 千円
- 5,000 千円
- 10,000 千円
- 5,000 千円

論文・著書リスト(研究代表者)

主要文献

著者(著者は全て記入して下さい)・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち重要なものを選んで、A4用紙1枚程度で現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。提案者本人が筆頭著者のものについては頭に*印を付けて下さい。

記載項目は上記の通りです。項目順は自由です。

参考文献

著者(著者は全て記入して下さい)・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

上記以外にも研究提案を理解する上で必要な関連文献がありましたら挙げて下さい。
(提案者本人が筆頭著者のものがあれば頭に*印を付けて下さい。)

記載項目は上記の通りです。項目順は自由です。

論文・著書リスト (主たる共同研究者)

著者 (著者は全て記入して下さい。)・発表論文名・掲載誌・巻号・ページ・発表年

主たる共同研究者が、近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、主たる共同研究者ごとに A4 用紙 1 枚程度で、現在から順に発表年次を過去に遡って記入して下さい。
記載項目は上記の通りです。項目順は自由です。

特許リスト(研究代表者)

主要特許

出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日

〔 近年に出願した特許のうち重要なものを選んで、A4用紙1枚程度で記入して下さい。
記載項目は上記の通りです。項目順は自由です。 〕

他制度での助成等の有無

研究代表者及び主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、研究費の額、エフォート等を記入してください。

記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

<ご注意：現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、巻末のお問い合わせ先まで電子メールで連絡して下さい。>

(記入例)

研究代表者 (研究提案者) : 氏名

制度名 ¹⁾	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 ²⁾ (代表/ 分担)	研究費 ³⁾ (期間全体) " (H19 年度) " (H18 年度)	エフォート (%) ⁴⁾
科学研究費補助金 基盤研究(S)		H19 - H23	代表	100,000 千円 25,000 千円 -	20
科学技術振興調整費	()	H18 - H21	分担	32,000 千円 8,000 千円 8,000 千円	10
(申請中) 財団 研究助成		H19 - H21	代表	15,000 千円 5,000 千円 -	5
5)					

- 1) 現在受けている、又は採択が決定している助成等について、研究費 (期間全体) が多い順に記載して下さい。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載して下さい (「 制度名 」 の欄に 「 (申請中) 」 などと明記して下さい)。
- 2) 「 役割 」 は、代表又は分担等を記載して下さい。
- 3) 「 研究費 」 は、ご本人が受給している金額を記載して下さい。
- 4) 「 エフォート 」 は、年間の全仕事時間 (研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む) を 100% とした場合、そのうち当該研究の実施に必要なとなる時間の配分率 (%) を記載して下さい。【 総合科学技術会議における定義による 】
- 5) 必要に応じて行を増減して下さい。

(次ページへ続く)

(前ページより続く)

(記入例)

主たる共同研究者：氏名

制度名 ¹⁾	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 ²⁾ (代表/ 分担)	研究費 ³⁾ (期間全体) " (H19年度) " (H18年度)
厚生労働省科研費		H19 - H23	代表	45,000 千円 10,000 千円 -

(記入例)

主たる共同研究者：氏名

制度名 ¹⁾	研究課題名 (代表者氏名)	研究 期間	役割 ²⁾ (代表/ 分担)	研究費 ³⁾ (期間全体) " (H19年度) " (H18年度)
科学研究費補助金 特定領域	()	H18 - H21	分担	25,000 千円 5,000 千円 5,000 千円

その他特記事項

- ・戦略的創造研究推進事業に応募した理由、研究に際してのご希望、ご事情その他について、自由に記入して下さい。
- ・海外の研究機関等で研究を行うことを希望される場合は、その理由をこちらに記載してください。
- ・特筆すべき受賞歴等がある場合には、必要に応じてこちらに記載してください。